

トヨタ生産方式 (TPS) による企業や団体への効率的改善活動

アメリカ | 主体：トヨタ生産方式支援センター (TSSC)

【概要】

「TPSの開示による北米の製造業等への支援活動を行い、広く社会に貢献」を使命の一つとして、1992年ケンタッキー州レキシントン市にTSSCを設立。トヨタのサプライヤーに限らず、TPSの習得と実践により運営改善や顧客へのよりよいサービス提供を希望する熱意ある企業や非営利団体、政府機関に対し支援を行っています。2011年には非営利組織となり、公的機関や非営利団体への積極的支援に努めています。

医療分野では、救急処置室での待ち時間短縮や、倉庫の在庫削減支援を実施。またフードバンク、災害支援、教育、社会サービス、アート等をはじめとする非営利団体への支援も拡充しています。

【これまでの実績】

個別工程改善活動実施数：314社以上（例：ニューヨーク市フードバンクの待ち時間短縮：1.5時間→18分）
セミナー参加者数：4,300人以上（2016年3月時点）



ニューヨーク市フードバンク
改善前は、空席があるにも関わらず、施設の外で列を作っている人がいた。改善後は、支援者のサポートもあり、より大勢の人が効率よく席につけるように改善されている

トヨタ生産方式 (TPS) による中小企業や非営利団体への改善活動

オーストラリア | 主体：トヨタ生産方式支援センター オーストラリア (TSSC-AU)

【概要】

オーストラリアトヨタ (TMCA) は、2017年末の工場閉鎖決定後、さまざまな地域貢献を検討してきました。その1つの方法として、アメリカでのTSSCの活動を参考にTSSC-AUを設立しました。TSSC-AUのメンバーはトヨタのサプライヤーを支援してきたTMCA調達部のメンバーで、薬局での調剤時間の短縮やがんセンターでの患者さんの待ち時間短縮などを実現。立ち上がったばかりのセンターですが、メンバーは、50年間の現地での事業で培ったノウハウを地域のために生かしたいと熱い想いで取り組んでいます。

【これまでの実績】

がんセンターでの患者さんの待ち時間を56%短縮。
薬局での調剤処方箋作成の時間を85%短縮（2016年3月時点）



トヨタの工場で病院のエグゼクティブに対し 病院のメンバーと一緒に問題の解決策を検討
TPSの考え方を紹介

人命救助への貢献 ～トヨタ生産方式 (TPS) を活用した病院の改善活動～

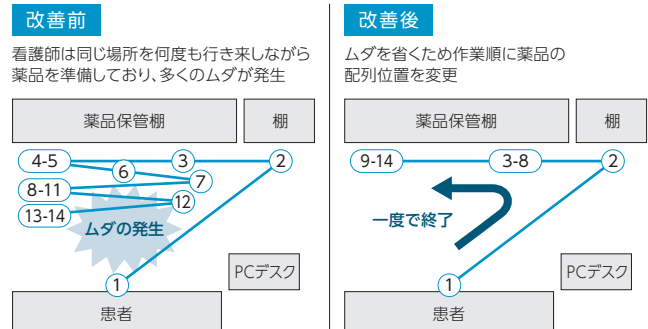
ブラジル | 主体：ブラジルトヨタ (TDB)

【概要】

日系人が多いサンパウロ市からの協力要請を受け、2015年に「サンクルス病院」の業務改善活動を病院スタッフ共同で開始。救急外来室の配置や受付から診察終了までの流れ等を調査した結果、薬を準備するスタッフが部屋の中を何度も行き来しているなど、取り組むべき課題を発見しました。作業順に部屋の中の配置を変更し、使用頻度の高い薬を近くに置くなどの工夫を施した結果、患者の待ち時間を短縮することができました。病院関係者は、病院の業務改善を行うことは人命救助にもつながるため、救急外来以外の場所でもTPSを活用し、継続的な改善に取り組むたいと考えています。

【これまでの実績】

患者の待ち時間：従来から20%短縮（2016年3月時点）



無料手術プロジェクトへの支援

ベネズエラ | 主体：ベネズエラトヨタ (TDV)、現地トヨタ販売店連合、トヨタベネズエラサービス (以上3つを合わせて「トヨタ」と表記)

【概要】

ベネズエラには、口蓋裂の人々に無料で手術を行う「ロタブラスト」プロジェクトがあります。手術は世界各国から外科医が集まり、TDVの工場があるスクレ州の州都クマナの病院で行われます。多くのボランティアが関わっていますが、外科医を世界中から招くためには経済的な支援が必要です。

2010年より、トヨタは本プロジェクトに対し、金銭面および従業員ボランティアの参画を通じてこの活動を支援しています。今後TDVはトヨタグループ、地元ロータリークラブ、市政府との連携を強化してプログラムを支援していきます。

【これまでの実績】

2015年の来院者：248人
手術対象者：95人 (延べ100回の手術を実施)
累計トヨタ従業員ボランティア参加者数：415人 (2016年3月時点)



患者と交流するボランティア



笑顔の患者と従業員ボランティア

医療奉仕プログラム ～貧困地域での医療・歯科サービスの提供～

フィリピン | 主体：フィリピントヨタ財団 (TMPF)

【概要】

TMPFは1992年より、医療関係者や歯科医団体、製薬会社、自治体などの協力を得て、医療サービスを受けられない地区の住民に、年1回の定期医療・歯科治療サービスを実施しています。TMPFは運営資金を、協賛会社は診療や薬品を無償提供。フィリピントヨタ従業員や給費生、研究者、医師、看護師、歯科医、製薬会社社員など約250人のボランティアが参加しています。TMPFが提供した3台のバンも、レントゲン・マンモグラフィー検査などさまざまな医療検査を行うための車両として活躍。中には簡単な手術を行うこともあり、急病の場合は地域の病院に案内します。

【これまでの実績】

累計受診者数：10万1,000人以上 (2016年3月時点)



赤ちゃんから採血中のボランティアスタッフ



少年の抜歯をするボランティア歯科医

国内外における自然災害発生時に災害義援金の寄付などを実施

国内外 | 主体：トヨタ自動車株式会社 (TMC)

【概要】

甚大な自然災害が発生した際、何よりも「人命第一」「地域の復旧」を最優先に、TMCは支援活動を行っています。現地の被害状況を的確に把握しつつ、できる限り迅速に、災害支援車両の手配や、日本赤十字社、中央共同募金会、ジャパン・プラットフォームをはじめとする団体へ災害義援金を寄付しています。また、従業員募金やマッチングギフトも行っています。

近年の災害の頻発と被災者の避難形態多様化を背景に、災害発生後の早い段階から被災された方の生活再建のお役に立ちたいと考え、2018年3月から「TDRS (Toyota Disaster Recovery Support、トヨタ災害復旧支援)」と名付けた新しい活動を始めました。

具体的には「車中泊」避難者への支援や支援人材の社内育成等を行っています。2018年7月の西日本豪雨災害に対して、被災自治体などからの要請により、災害ボランティアセンターの運営支援に向け、社内講座の受講済みボランティアコーディネーターの派遣を行いました。今後も被災された方の気持ちに寄り添った支援を目指していきます。

【2016-2018年実績】

【海外】

2018年10月 インドネシア中部スラウェシ島地震
2018年2月 台湾東部地震
2017年9月 メキシコ南部中部地震

【国内】

2018年9月 北海道胆振東部地震
2018年7月 平成30年7月豪雨
2017年7月 福岡県・大分県 平成29年7月九州北部豪雨災害
2016年4月 熊本県 平成28年熊本地震